

科目名	人間と科学Ⅰ(経済学)	英語科目名	Cultural Science I (Economics)	
開講年度・学期	平成27年度・前期	対象学科・専攻・学年	5年全学科	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	1単位	単位種類	履修単位	
担当教員	山本 大	居室(もしくは所属)	非常勤講師控え室(管理棟1F)	
電話	0285-20-2100	E-mail	tueno@oyama-ct.ac.jp	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件	
1. 資本主義社会の運動法則を理解し、適切に説明できること。	①	D	a, b	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
上記1について、中間試験及び定期試験の成績および授業参加状況(授業中の発言や報告(提出物を含む)、発表内容)により総合的に評価し、60%以上の成績で達成とする。				
評価方法				
中間試験及び定期試験: 80%				
授業参加状況(授業中の発言や報告(提出物を含む)、発表内容): 20%				
授業内容				
1. 経済とは何か 2. サunkコスト, 機会費用について 3. 技術革新と社会変化 回転寿司を例として 4. 比較優位, インセンティブ 5. 技術革新競争の果てに 半導体の開発を例として 6. モラルハザード, 逆選択 7. 新自由主義とモラルハザード 米国エンロン社破綻を例として 8. 価格差別, 裁定 9. 少子高齢化社会とは 10. 囚人のジレンマ, 共有地の悲劇 11. 行動経済学アプローチ(1) 12. 割引現在価値, ネットワーク外部性 13. 行動経済学アプローチ(2) 14. ロックイン, コミットメント 15. ヴェブレン効果, 心の会計				
キーワード	技術革新, モラルハザード, 新自由主義, 少子高齢化社会			
教科書	使用しない。			
参考書	行動経済学の入門書, マルクス「資本論」「賃労働と資本」「賃金価格及び利潤」			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	政治・経済			
現学年の関連科目	人間と科学Ⅱ			
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
シラバスの内容に変更があった場合は受講者に対して速やかに説明する。				
シラバス作成年月日	平成27(2015)年2月25日			